

【参考資料1】「学校設置基準」等に基づく必要面積

○小学校設置基準(平成十四年三月二十九日文部科学省令第十四号)

○中学校設置基準(平成十四年三月二十九日文部科学省令第十五号)

【校舎の面積】

児童・生徒数	面積(m <sup>2</sup> )	
	小学校	中学校
1人以上40人以下	500	600
41人以上480人以下	$500+5 \times (\text{児童数}-40)$	$600+6 \times (\text{生徒数}-40)$
481人以上	$2700+3 \times (\text{児童数}-480)$	$3240+4 \times (\text{生徒数}-480)$

【グラウンドの面積】

児童・生徒数	面積(m <sup>2</sup> )	
	小学校	中学校
1人以上240人以下	2400	3600
241人以上 720 人以下	$2400+10 \times (\text{児童数}-240)$	$3600+10 \times (\text{生徒数}-240)$
721人以上	7200	8400

○義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令(昭和33年政令第189号)

【校舎の面積】

普通学級数	面積(m <sup>2</sup> )	
	小学校	中学校
1～2学級	$769+279 \times (\text{学級数}-1)$	$848+651 \times (\text{学級数}-1)$
3～5学級	$1326+381 \times (\text{学級数}-3)$	$2150+344 \times (\text{学級数}-3)$
6～11学級	$2468+236 \times (\text{学級数}-6)$	$3181+324 \times (\text{学級数}-6)$
12～17学級	$3881+187 \times (\text{学級数}-12)$	$5129+160 \times (\text{学級数}-12)$
18学級以上	$5000+173 \times (\text{学級数}-18)$	$6088+217 \times (\text{学級数}-18)$

※特別支援学級を置く学校は、上記面積に  $168 \times (\text{特別支援学級数})$  を加える。

※その他、多目的室の有無によって基準が異なるが、ここでは加味しない。

【体育館の面積】

小学校		中学校	
学級数	面積(m <sup>2</sup> )	学級数	面積(m <sup>2</sup> )
1～10学級	894	1～17 学級	1, 138
11～15学級	919	18学級以上	1, 476
16 学級以上	1, 215		

○先の2つの基準による計算結果

R5年度	児童数 (人)	学級数(クラス)		学校設置基準《校舎》(㎡)		学校設置基準《運動場》(㎡)			国庫負担等《校舎》(㎡)			国庫負担等 《屋内運動場》(㎡)	
		一般	特別 支援	(児童数)		(児童数)			(普通学級数)				
				41~480人	481人以上	1~240人	241~720人	721人以上	6~11学級	12~17学級	18学級以上		
①第一小	702	21	3		3,366			7,020				6,023	1,215
②第二小	415	14	2	2,375				4,150		4,591			1,215
③御成小	510	17	4		2,790			5,100		5,488			1,215
④稲村ヶ崎小	236	8	0	1,480		2,400				2,940			894
⑤腰越小	373	14	2	2,165				3,730		4,591			1,215
⑥深沢小	748	23	3		3,504			7,200				6,369	1,215
⑦小坂小	632	20	2		3,156			6,320				5,682	1,215
⑧玉縄小	427	14	2	2,435				4,270		4,591			1,215
⑨大船小	557	19	4		2,931			5,570				5,845	1,215
⑩山崎小	620	20	0		3,120			6,200				5,346	1,215
⑪今泉小	473	16	2	2,665				4,730		4,965			1,215
⑫西鎌倉小	710	22	2		3,390			7,100				6,028	1,215
⑬七里ガ浜小	254	12	2	1,570				2,540		4,217			919
⑭富士塚小	214	8	2	1,370		2,400				3,276			894
⑮関谷小	420	14	2	2,400				4,200		4,591			1,215
⑯植木小	218	8	2	1,390		2,400				3,276			894

R5年度	生徒数 (人)	学級数(クラス)		学校設置基準《校舎》(㎡)		学校設置基準《運動場》(㎡)			国庫負担等《校舎》(㎡)			国庫負担等 《屋内運動場》(㎡)	
		一般	特別 支援	(生徒数)		(生徒数)			(普通学級数)				
				41~480人	481人以上	1~240人	241~720人	721人以上	6~11学級	12~17学級	18学級以上		
①第一中	198	6	2	1,548			3,600			3,517			1,138
②第二中	208	6	1	1,608			3,600			3,349			1,138
③御成中	399	11	2	2,754				5,190		5,137			1,138
④腰越中	322	9	2	2,292				4,420		4,489			1,138
⑤深沢中	500	13	2		3,320			6,200			5,625		1,138
⑥大船中	545	15	2		3,500			6,650			5,945		1,138
⑦玉縄中	540	14	3		3,480			6,600			5,953		1,138
⑧岩瀬中	458	12	2	3,108				5,780			5,465		1,138
⑨手広中	265	8	2	1,950				3,850		4,165			1,138

## 【参考資料2】 学校施設老朽化状況調査業務の結果

平成29年度(2017年度)から30年度(2018年度)にかけて実施した「学校施設老朽化状況調査業務」に示された、建物の「構造躯体の健全性」や「劣化状況」の評価結果は次のとおりです。

### 【小学校】

学校名	住所	建物													
		建物名	構造	階数	建築年度	築年数 (2023)	延床面積(㎡)	劣化状況(健全度)調査					健全度		
								屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備			
1	第一小	由比ヶ丘 2-9-5	校舎1	RC	4	1965 (S40)	58	3,812	B	B	B	C	B	70	
			校舎2	RC	3	1965 (S40)	58	2,306	B	B	B	C	B	70	
			校舎3	RC	3	1979 (S54)	44	1,309	B	B	B	B	B	75	
			体育館	S	2	1974 (S49)	49	838	B	B	B	C	D	62	
			その他	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-
2	第二小	二階堂 878	校舎1	RC	3	1967 (S42)	56	2,365	B	B	C	B	B	62	
			校舎2	RC	3	1967 (S42)	56	1,513	C	B	C	B	B	59	
			校舎3	RC	3	1983 (S58)	40	561	B	B	B	B	B	75	
			体育館	RC	1	1983 (S58)	40	605	B	B	B	B	B	75	
			その他	-	-	-	-	-	298	-	-	-	-	-	-
3	御成小	御成町 19-1	校舎2	W	2	1998 (H10)	25	2,234	B	B	A	B	B	84	
			校舎3	S	2	1998 (H10)	25	2,767	B	B	A	B	B	84	
			校舎4	S	2	1998 (H10)	25	854	B	B	A	B	B	84	
			校舎5	RC	1	1999 (H11)	24	359	B	B	A	A	A	91	
			体育館	RC	1	1998 (H10)	25	1,014	B	B	A	B	B	84	
			その他	-	-	-	-	-	1,137	-	-	-	-	-	-
4	稲村ヶ崎小	極楽寺 3-2-3	校舎1	S	2	1980 (S55)	43	1,707	B	B	C	B	B	62	
			校舎2	RC	4	1980 (S55)	43	1,860	C	B	B	C	C	63	
			体育館	RC	1	1980 (S55)	43	472	B	B	B	C	C	66	
			その他	-	-	-	-	-	60	-	-	-	-	-	
5	腰越小	腰越 5-7-1	校舎1	RC	3	1965 (S40)	58	656	D	B	B	B	D	62	
			校舎2	RC	3	1965 (S40)	58	258	D	B	B	B	D	62	
			校舎3	RC	3	1965 (S40)	58	620	D	B	B	B	D	62	
			校舎4	RC	3	1971 (S46)	52	2,664	C	B	B	B	A	75	
			校舎5	RC	2	1982 (S57)	41	972	B	B	B	B	B	75	
			体育館	S	2	1977 (S52)	46	802	B	B	B	C	D	62	
			その他	-	-	-	-	-	498	-	-	-	-	-	-
6	深沢小	梶原 1-1-1	校舎1	RC	4	1970 (S45)	52	2,334	B	B	B	B	B	75	
			校舎2	RC	3	1972 (S47)	50	2,245	B	B	B	B	D	67	
			校舎3	RC	3	1979 (S54)	43	2,378	B	B	B	B	B	75	
			体育館	S	2	1979 (S54)	43	978	B	B	B	B	B	75	
			給食棟	S	1	1972 (S47)	50	300	B	B	B	C	D	62	
			その他	-	-	-	-	-	231	-	-	-	-	-	-
7	小坂小	小袋谷 587	校舎1	RC	4	1985 (S60)	37	5,694	B	C	B	B	B	65	
			体育館	RC	2	1985 (S60)	37	882	B	B	B	B	B	75	
			その他	-	-	-	-	-	173	-	-	-	-	-	
8	玉縄小	玉縄 1-860	校舎1	RC	3	1966 (S41)	57	2,307	B	B	B	B	B	75	
			校舎2	RC	3	1974 (S49)	49	1,350	B	B	B	B	B	75	
			校舎3	RC	3	1974 (S49)	49	2,444	B	B	B	B	B	75	
			体育館	RC	2	1980 (S55)	43	734	B	B	B	B	B	75	
			その他	-	-	-	-	-	338	-	-	-	-	-	
9	大船小	大船 2-8-1	校舎1	RC	4	1978 (S53)	45	2,329	B	C	B	C	C	56	
			校舎2	RC	3	1979 (S54)	44	3,092	B	B	B	B	A	78	
			体育館	RC	2	1986 (S61)	37	804	C	C	B	B	B	62	
			その他	-	-	-	-	-	233	-	-	-	-	-	
10	山崎小	山崎 2500	校舎1	RC	3	1970 (S45)	53	1,682	B	B	B	B	B	75	
			校舎2	RC	4	1970 (S45)	53	3,081	C	B	B	B	B	72	
			体育館	S	1	1974 (S49)	49	841	B	B	B	C	D	62	
			その他	-	-	-	-	-	136	-	-	-	-	-	
11	今泉小	今泉 2-13-1	校舎1	RC	3	1972 (S47)	51	2,003	B	C	B	B	B	65	
			校舎2	RC	3	1972 (S47)	51	2,901	C	C	B	B	B	62	
			校舎3	RC	3	1978 (S53)	45	2,047	B	B	B	B	B	75	
			体育館	S	2	1976 (S51)	47	875	C	B	B	C	D	59	
			その他	-	-	-	-	-	177	-	-	-	-	-	
12	西鎌倉小	津 1069	校舎1	RC	4	1974 (S49)	49	2,907	C	C	B	B	B	62	
			校舎2	RC	4	1974 (S49)	49	3,566	B	C	B	B	B	65	
			体育館	S	2	1979 (S54)	44	946	B	B	B	B	B	75	
			その他	-	-	-	-	-	108	-	-	-	-	-	

学校名	住所	建物													
		建物名	構造	階数	建築年度	築年数(2023)	延床面積(㎡)	劣化状況(健全度)調査							
								屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度		
13	七里ガ浜小	七里ガ浜東 5-3-2	校舎1	RC	4	1976	(S51)	47	2,306	B	B	B	C	C	66
			校舎2	RC	4	1976	(S51)	47	1,793	B	B	B	C	C	66
			体育館	S	2	1978	(S53)	45	717	B	B	B	C	D	62
			その他	-	-	-	-	-	107	-	-	-	-	-	-
14	富士塚小	上町屋 810	校舎1	RC	4	1977	(S52)	46	5,100	C	B	C	C	A	57
			校舎2	RC	4	1989	(H元)	34	1,480	B	B	B	B	B	75
			体育館	S	2	1979	(S54)	44	936	B	B	B	B	B	75
			その他	-	-	-	-	-	133	-	-	-	-	-	-
15	関谷小	関谷 468-1	校舎1	RC	4	1979	(S54)	44	4,729	B	B	B	A	A	81
			体育館	S	2	1980	(S55)	43	960	B	B	B	B	B	75
			その他	-	-	-	-	-	279	-	-	-	-	-	-
16	植木小	植木 1	校舎1	RC	4	1985	(S60)	38	3,548	B	C	B	B	B	65
			校舎2	RC	3	1985	(S60)	38	1,182	B	B	B	B	B	75
			体育館	RC	2	1985	(S60)	38	794	B	B	B	B	B	75
			その他	-	-	-	-	-	58	-	-	-	-	-	-

     築年数50年以上  
     築年数30年以上

     A 概ね良好  
     B 部分的に劣化  
     C 広範囲に劣化  
     D 早急に対応必要

### 【中学校】

学校名	住所	建物													
		建物名	構造	階数	建築年度	築年数(2023)	延床面積(㎡)	劣化状況(健全度)調査							
								屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度		
1	第一中	材木座 6-19-19	校舎1	RC	4	1984	(S59)	39	4,452	B	B	B	B	B	75
			体育館	RC	2	1984	(S59)	39	1,018	B	B	B	B	B	75
			その他	-	-	-	-	-	104	-	-	-	-	-	-
2	第二中	西御門 1-7-1	校舎1	S	2	2010	(H22)	13	4,097	A	A	A	A	A	100
			体育館	S	2	2010	(H22)	13	953	A	A	A	A	A	100
			その他	-	-	-	-	-	214	-	-	-	-	-	-
3	御成中	笹目町 2-1	校舎1	RC	4	1966	(S41)	57	5,093	B	B	B	B	B	75
			校舎2	RC	3	1983	(S58)	40	1,123	B	B	B	B	B	75
			校舎3	RC	2	1983	(S58)	40	1,042	B	B	B	B	B	75
			体育館	S	2	1975	(S50)	48	963	B	B	B	C	D	62
			その他	-	-	-	-	-	129	-	-	-	-	-	-
4	腰越中	腰越 4-11-5	校舎1	RC	4	1977	(S52)	46	3,164	B	B	B	C	D	62
			校舎2	RC	4	1986	(S61)	37	2,217	B	B	B	B	B	75
			体育館	RC	1	2004	(H16)	19	1,208	B	B	A	A	A	91
			その他	-	-	-	-	-	166	-	-	-	-	-	-
5	深沢中	梶原 1-14-1	校舎1	RC	4	1965	(S40)	58	3,091	B	B	B	C	B	70
			校舎2	RC	4	1977	(S52)	46	3,109	B	B	B	C	B	70
			体育館	S	2	1972	(S47)	51	926	B	C	B	C	C	56
			その他	-	-	-	-	-	237	-	-	-	-	-	-
6	大船中	大船 4-1-25	校舎1	RC	3	2016	(H28)	7	6,857						
			校舎2	RC	1	2016	(H28)	7	362						
			体育館	RC	3	2016	(H28)	7	2,764	-	-	-	-	-	-
7	玉縄中	岡本 1100	校舎1	RC	4	1973	(S48)	50	2,204	B	B	B	B	B	75
			校舎2	RC	4	1973	(S48)	50	3,233	B	B	B	B	B	75
			校舎3	RC	4	1987	(S62)	36	872	B	B	B	B	B	75
			体育館	S	2	1977	(S52)	46	1,152	B	C	B	C	D	52
			その他	-	-	-	-	-	189	-	-	-	-	-	-
8	岩瀬中	岩瀬 840	校舎1	RC	4	1980	(S55)	43	4,650	C	B	B	B	B	72
			校舎2	RC	3	1980	(S55)	43	578	B	B	B	B	B	75
			校舎3	RC	4	1980	(S55)	43	1,412	C	B	B	B	B	72
			体育館	RC	2	1981	(S56)	42	1,097	C	C	B	B	B	62
			その他	-	-	-	-	-	144	-	-	-	-	-	-
9	手広中	手広 5-7-1	校舎1	RC	3	1982	(S57)	41	2,061	B	B	B	B	B	75
			校舎2	RC	4	1982	(S57)	41	3,543	B	C	D	B	B	41
			体育館	RC	2	1982	(S57)	41	1,134	C	C	B	B	B	62
			その他	-	-	-	-	-	173	-	-	-	-	-	-

     築年数50年以上  
     築年数30年以上

     A 概ね良好  
     B 部分的に劣化  
     C 広範囲に劣化  
     D 早急に対応必要

### 【参考資料3】 適正規模・適正配置

#### 学校規模の適正化が課題となる背景

- 児童・生徒が集団の中で、多様な考え方に触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえると、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましいとされています。
- 一方で、今後、少子化がさらに進むことが予想される中、交通環境の整備状況、人口動態の地域間格差など、地域の特性によって学校の設置・運営のあり方が大きく異なるため、最終的には公立小・中学校の設置主体である市町村教育委員会が判断する必要があります。

※「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」より

#### 《適正規模》の基準と現状

- 適正規模に関し「学校教育法施行規則」において、「小・中学校ともに12学級以上18学級以下(小学校で1学年2～3学級、中学校で1学年4～6学級)を標準とする。」とされています。

- 令和5年度(2023年度)の本市小・中学校の学級数は以下のようになっています。

	12学級未満	12学級以上 18学級以下	18学級超
小学校	3校	6校	7校
中学校	4校	5校	0校

#### 《適正配置》の基準と現状

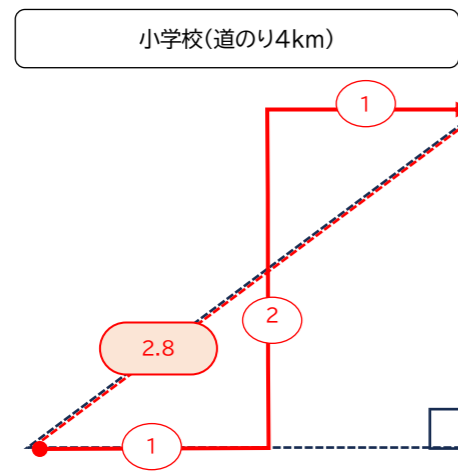
- 適正配置に関し「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令」において、「通学距離は、小学校で概ね4km以内、中学校で概ね6km以内であることが適正」とされています。

- 上記の通学距離(道のり)を直線距離に置き換えた場合、小学校で半径2.8km、中学校で4.2kmとなり、各学校の適正通学距離は次ページ図のようになります。

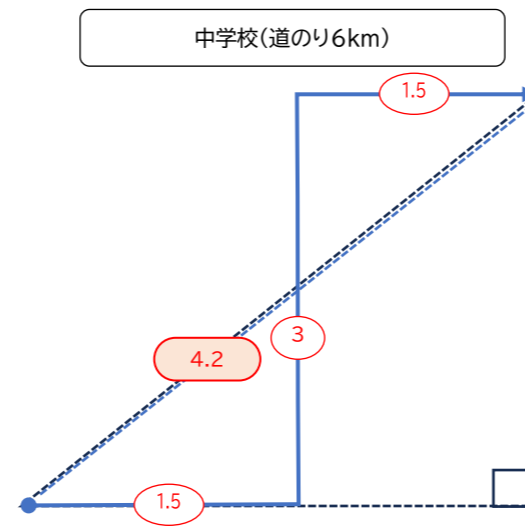


鎌倉市立小学校通学区域概略図(1)

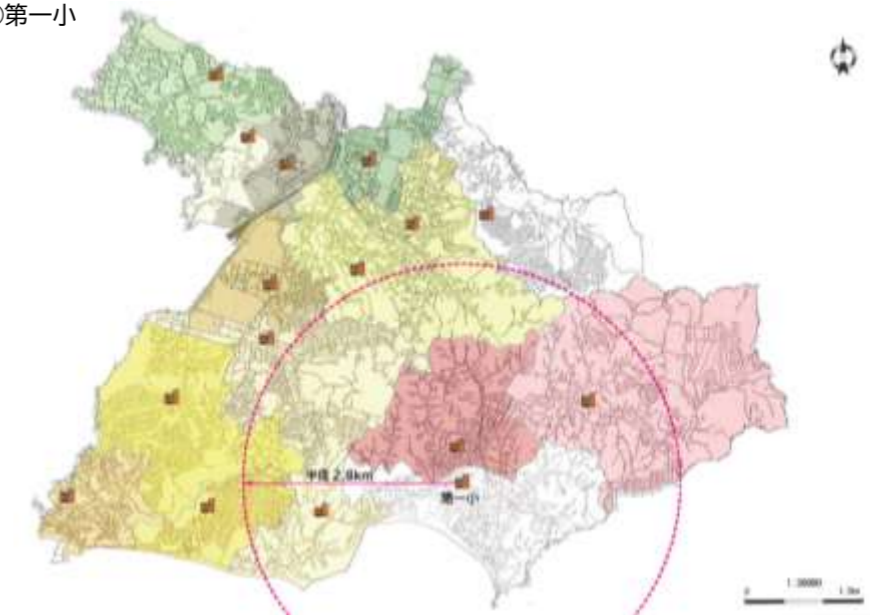
※小学校の通学距離 → 概ね4kmが適正 → 半径 2.8km



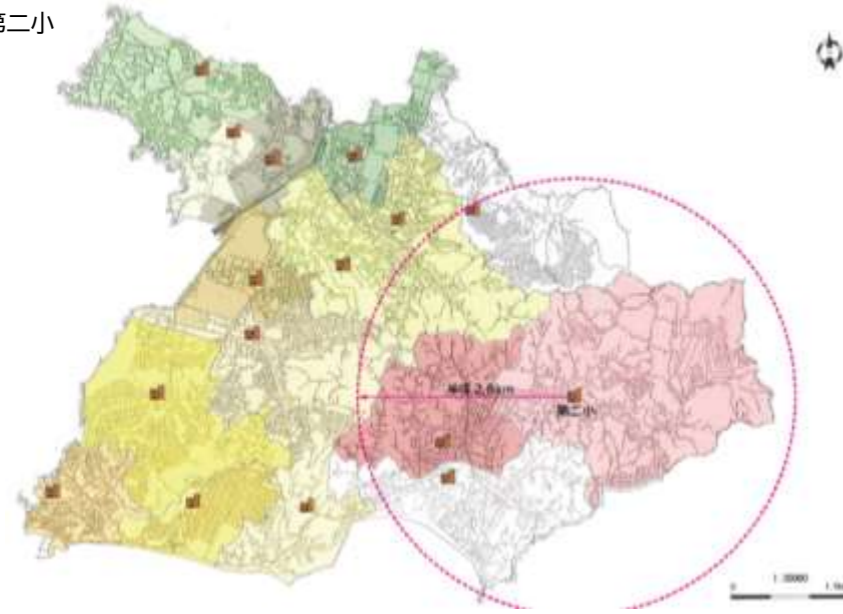
※中学校の通学距離 → 概ね6kmが適正 → 半径 4.2km



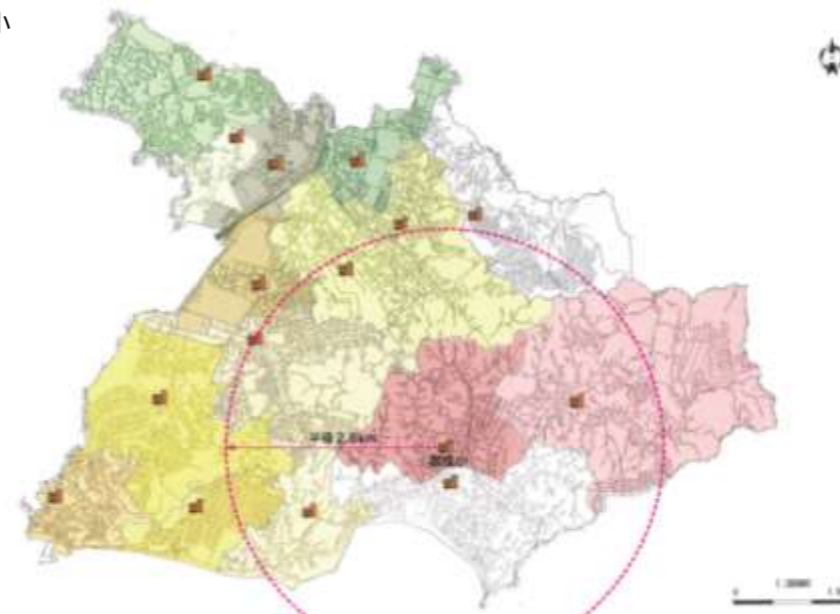
①第一小



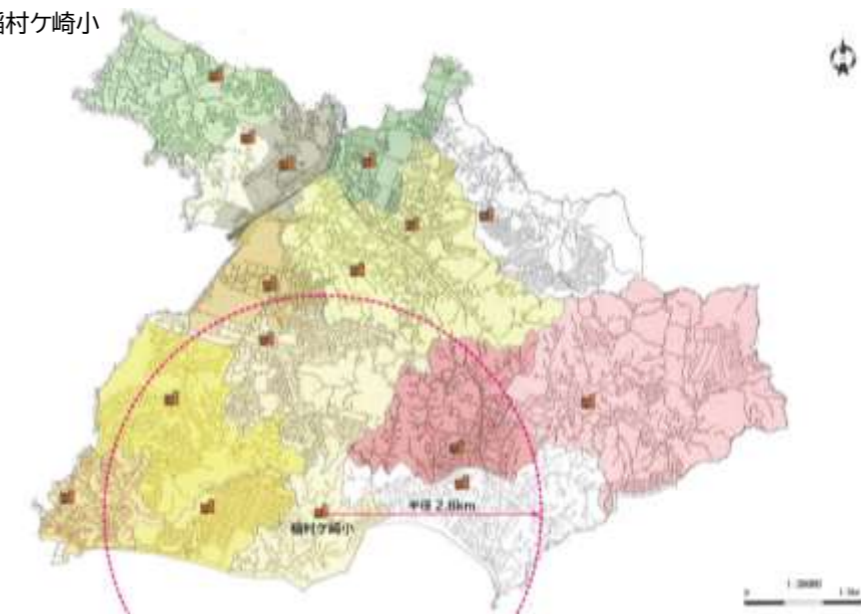
②第二小



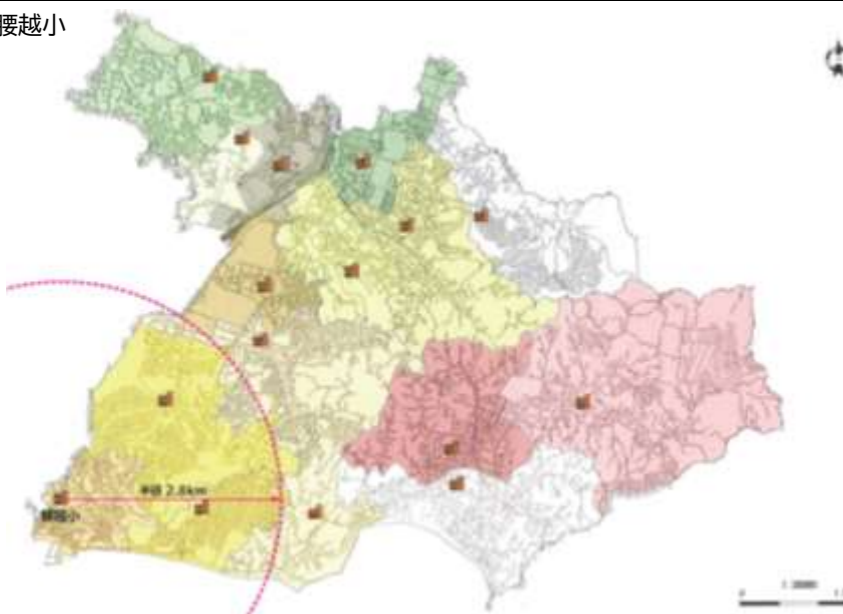
③御成小



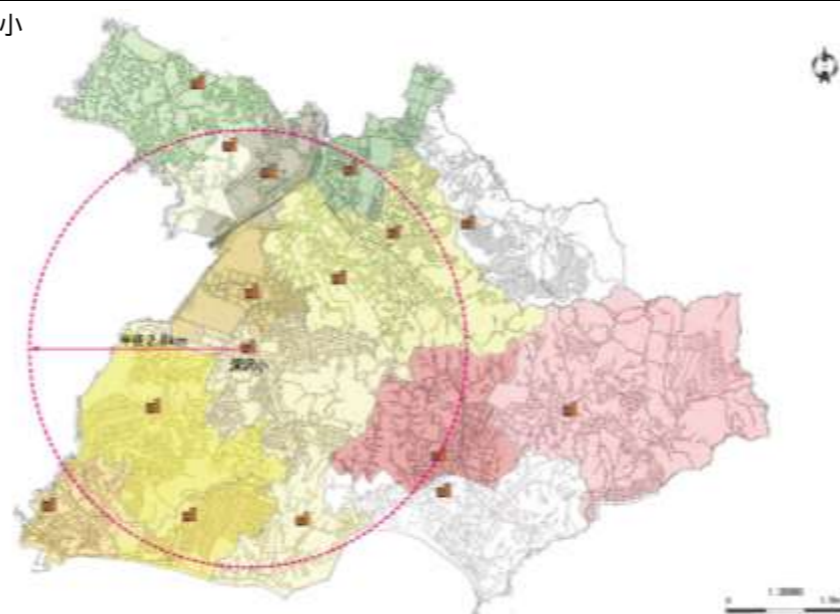
④稲村ヶ崎小



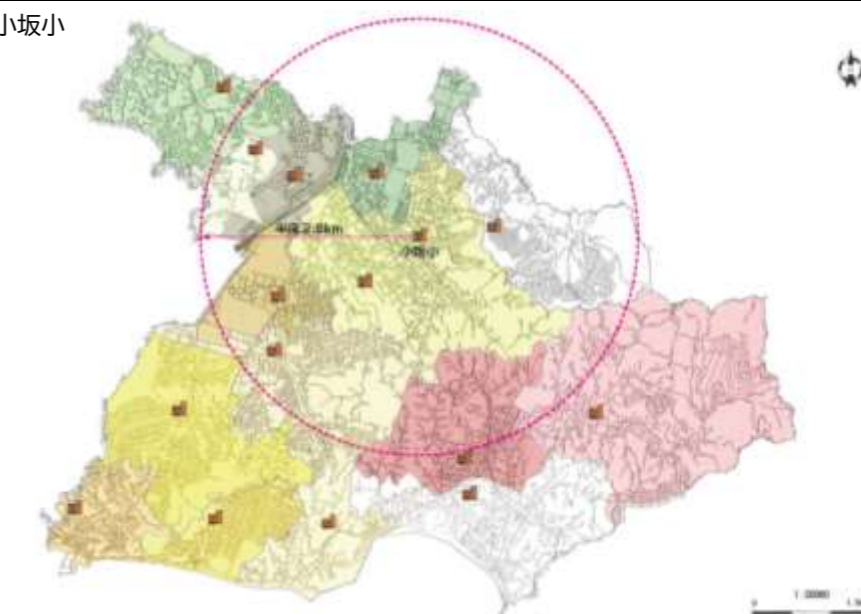
⑤腰越小



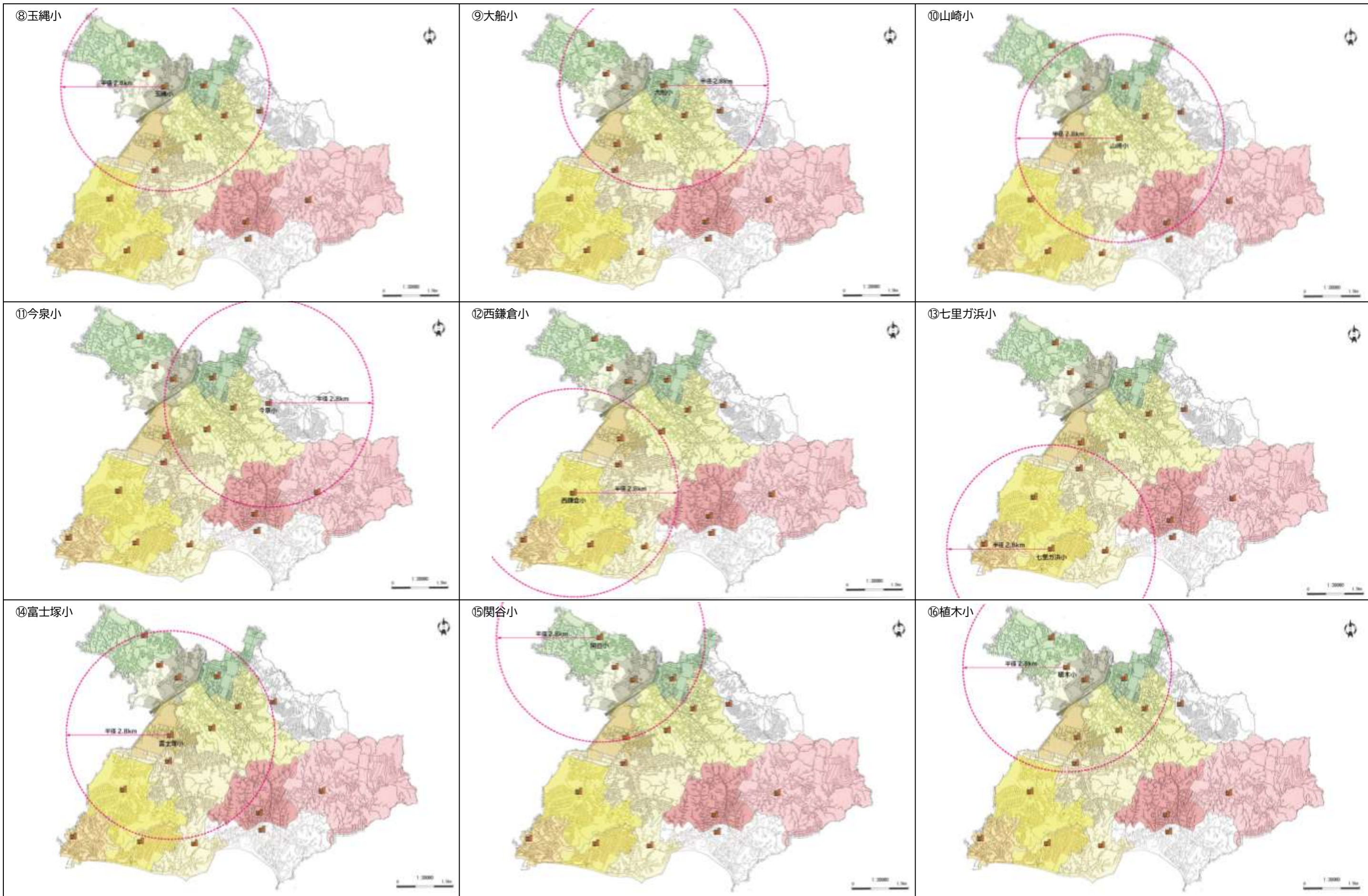
⑥深沢小



⑦小坂小

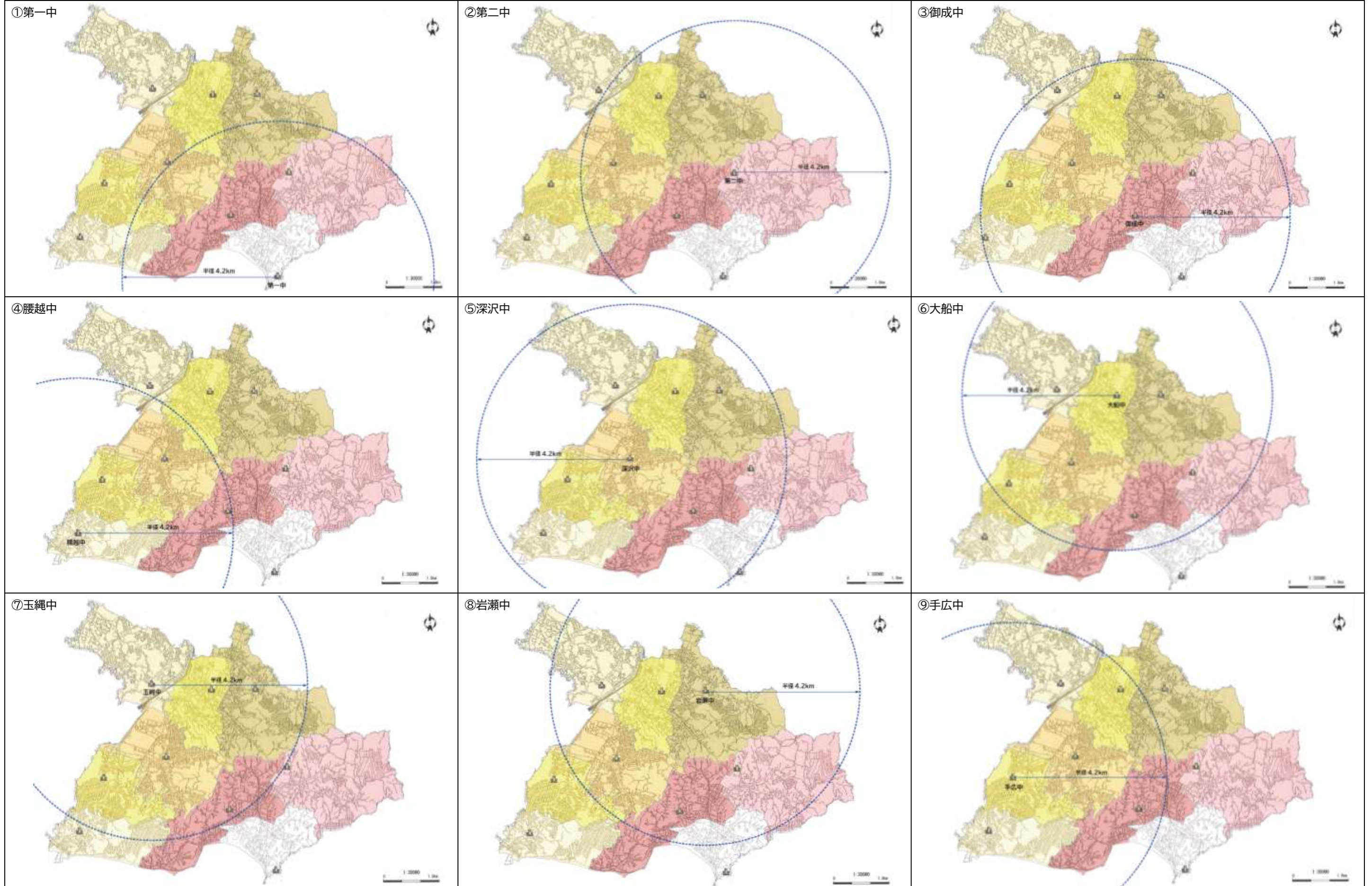








鎌倉市立中学校通学区域概略図





## 【用語説明】

	語句	説明
あ行	ICT(アイ・シー・ティ)	Information and Communication Technology(情報通信技術)の略で、インターネットのような通信技術を活用したコミュニケーション手段。
	エコスクール	環境負荷の低減や自然との共生を考慮した学校施設として整備して、環境教育の教材として活用するもの。
か行	希望出生率	アンケート結果等を踏まえ、若い世代の結婚や出産の希望がかなった場合の子どもの出生数の割合。
	合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものであり、一人の女性が一生の間に産むとした時の子どもの数に相当する。
	コミュニティスクール	学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる協議会制度。
さ行	社会移動率	当該自治体における移動者数(転入者・転出者)の割合。転入者が転出者より多い場合はプラスとなる。
	スケルトン・インフィル	建物の構造躯体と内装・設備が別々になっており、内装や設備を簡単に取り替えられるシステム。
	ZEB(ゼブ)	Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間のエネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。
た行	地域拠点校	各行政地域の小中学校の中から1校を選定し、学習センターや老人福祉センター、図書館など、各行政地域に必要な機能を精査し、学校と地域活動・交流の場を併設するという鎌倉市の政策。
	ティーム・ティーチング	単に複数の先生がクラスの授業や指導を担当するというに止まらず、特定の教科や子どもたちの状況に応じて、先生が役割分担をしながら子どもたちの個別課題に応じたきめ細かい指導を行う仕組み。
	長寿命化改修	老朽化した施設を将来にわたって長く使い続けるため、単に物理的な不具合を直すのみではなく、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げること。
	統廃合	児童・生徒数の減少による小規模な学校を廃止し、一定規模以上の学校となるよう再編を行うこと。
は行	ファシリティマネジメント計画	企業や行政等の団体が組織活動のために、施設やその環境を総合的に企画、管理、活用するために作成する計画。
	PFI(ピー・エフ・アイ)	Private Finance Initiative(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)の略で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法。
	BTO方式	PFI手法の中の1つで、Build Transfer and Operate(ビルド・トランスファー・オペレート)の略。民間事業者が自らの資金で学校等の公共施設の建設を行い、完成後、施設の所有権を自治体等に譲渡した後、自治体が所有する施設の維持・管理・運営・サービスを行い、自治体からその対価を得ることで、利益を含めた投資を回収する方式。
	VFM(ブイ・エフ・エム)	Value For Money(バリュー・フォー・マネー)の略。PFI事業における重要な概念であり、支払いに対して最も価値の高いサービスを供給するという考え方。
	複合化	単独の学校施設としてだけでなく、施設機能の高機能化や多機能化を図ることで、児童・生徒や地域住民の多様な学習環境を創出するとともに、公共施設としての有効活用を図ること。
ら行	ラーニング・コモンズ	児童・生徒の学習支援を意図して、図書館などに自習やグループ学習用の施設、情報通信環境等の設備を設けた空間。

